

## 【第7回】 けんぽの保健師コラム～「健診・検診」何がちがうの？～

7回目は、保健師の黒沢が担当します。

タイトルの通り、「けんしん」と聞くと「①健診と②検診」漢字が二つありますが、違いは分かりますか？

①健康診断などの「健診」は健康増進のために健康状態を調べて改善することが目的です。  
⇒これは「**毎日の健康を守る最大の武器**」になります。

この「健診」のメリットとして

1. 自覚症状のない病気、特に生活習慣病（高血圧・糖尿病など）を予防できる。
2. 命に係わる脳卒中や心筋梗塞など重篤な病気の発症リスクが分かる。
3. 予防・早期発見により、短期間の治療で済む場合が多く、本人・家族への負担が少ない。

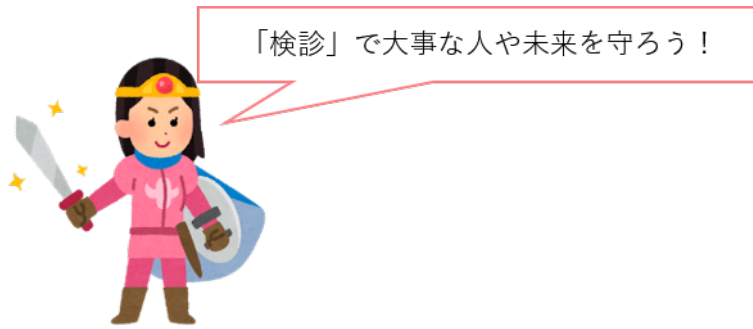


②がん検診などの「検診」は、今現在、病気にかかっているかを調べる検査や診察で、重い病気の早急発見・早期治療のために重要な検査です。

⇒これは「**大事な人や未来を守る最大の武器**」になります。

この「検診」のメリットとして

1. 早期発見、早期治療により、がんなどで死亡する危険性を減らすことができる。
2. 早期のがんを発見することで、体に負担の少ない方法で治療が出来る。
3. がんになる前の病変が発見できる。（子宮頸がん異型上皮、大腸ポリープなどは、発見して治療すれば、がん化することを防ぐことができる。）
4. 「異常なし判定」によりご本人やご家族が安心して生活できる。



どちらの「けんしん」も早めに受診することで、予防策が見つかり、早期発見・早期治療は病気の重症化を防ぐことができます。重要なのは、「けんしん」を受けたままにせず、結果に応じて精密検査受診や治療をすぐに行うことです。2つの「けんしん」という名の武器を最大限活用しましょう。

また、6月末に40歳以上の扶養しているご家族の方を対象に「主婦健診・家族健診・任意継続者健診ガイドブック」を送付しています。ご自宅に届きましたら、是非今回のお話をご家族へお伝えいただき、ご希望の受診方法や予約方法をご確認の上お申し込みください。残念ながら、ヤマトグループの被扶養者健診受診率は約50%で2人に1人は受診をしていません。ぜひ、皆さまから「けんしん受診した？」の確認や声掛けをお願いします。

家族健診について詳しくは[こちら](#)

では次回もお楽しみに